

PLUS Je システム収納家具取扱説明書

このたびは、Jeシステム収納家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

1. 安全のために必ずお守りください

△ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
△ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

△ 警告

- 指定以外の積み重ねをしないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 引出しの上段にだけ収納したり、引出しの手前側だけに収納しないでください。引き出した時に倒れてけがをすることがあります。収納物は最下段の引出しから順に入れてください。
- 上下左右連結されていないときは使用しないでください。連結されていないまま使用すると倒れてけがをすることがあります。単体使用する場合は、必ず購入店にご相談ください。
- 異常を発見したままで使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。販売店へ修理をお申し付けください。
- 両開き210タイプは、2連以上でボルト連結してください。扉を開けた際、倒れてけがをすることがあります。 ラテラルファイリングキャビネットは上下連結の有無に関わらず、横連結2連以上でボルト連結してください。連結しても同時に2つ以上の引出しを引き出さないでください。引き出した際に倒れてけがをすることがあります。
- 両開き210タイプ・ラテラルファイリングキャビネットを単体で使用する場合は、必ず床・壁に固定されているか、安定ベースが設置されていなければ使用しないでください。扉を開けた際又は、引き出した際に倒れてけがをすることがあります。(単体使用はお控えください。)
- 設置の際は、本体が水平を保つようにアジャスターで調整してください。傾いた状態で設置すると本体が倒れたり、のせているものが落下したりして、けがをする恐れがあります。
- 家具が倒れてけがをするのを防ぐために、(建物の壁面、天井、床等に固定する等)転倒防止工事を行ってください。開いた扉の上部に手をかけて力を加えないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 分解を禁止します。分解・組立・移動は専門業者にお任せください。転倒等の事故になることがあります。
- 廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

△ 注意

- 引出しなどの可動部のすきまに手を入れないでください。手をはさんでけがをすることがあります。
- 危険物を収納しないでください。人体や衣服を傷つけることがあります。
- 最大積載質量をこえて物を収納しないでください。棚板や引出しが落下してけがをすることがあります。
- 棚板や引き出した引出しに収納物以外の負荷をかけないでください。棚板、引出しが落下したり、本体が転倒してけがをすることがあります。
- 開き扉は隣の収納庫に当たるまで開けないでください。破損の原因になります。
- パーソナルロッカーは、扉が開かなくなる105°以上は開けないでください。破損の原因になります。
- 貴重品は収納しないでください。破壊されて盗難に遭うことがあります。
- 収納物は棚板、引出しからみ出さないこと。開閉、ラッチ、施錠等の機能傷害となり、収納物を破壊させる原因となります。
- 収納庫のなかで電気ポット等でお湯を沸かさないでください。内部に湯気がたまり漏電や感電の原因になります。
- 扉や引き戸、引出しが施錠するときは、全ての扉や戸、引出しが完全に閉まっていることを確認してから施錠してください。扉や戸、引出しが少しでも開いている時に錠を回すと施錠できない、または破損や錠の閉じ込みの原因になります。
- 用途以外に使用しないでください。事故やけがをすることがあります。
- 強力に磁性を帯びた物を収納したり、近づけないでください。錠が影響を受け、施錠ができないことがあります。
- 床に傾斜や段差がある不安定な場所では使用しないでください。本体が倒れてけがをすることがあります。
- 運動具の代わりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください)

△ 注意

- 各部のネジがゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 製品最上段にぶら下がったり、製品に寄りかかったりしないでください。倒れたり壊れてけがをすることがあります。
- 完全に組みあがっていない状態で使用しないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 本機を第三者に譲渡または貸与するときは、取扱方法を十分に説明してください。
- 木製天板に直接金属や陶器などの硬いものを載せたり、ボールペン等、先の硬いもので筆記しないでください。傷つくことがあります。
- 木製天板に直接熱いカップ等をおかないでください。表面に跡がつくことがあります。

● 最大積載質量一覧

部位	W900×D400
棚板・底板	40kg
ラテラルB4引出し	60kg
棚板・底板(パーソナルロッカー)	20kg
トラッシュユニットボックス引出し	7.5kg
クリアケースA4浅型トレー	1kg
クリアケースA4深型トレー	2kg

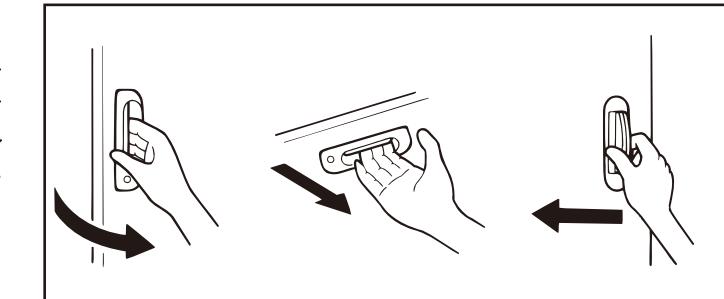
2. 健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

1. 製品購入時の注意事項
購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
2. 温度や湿度の変化による換気の励行
室内が著しく高温多湿になる場合(温度28°C、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

3. ご使用方法

1. ラッチ機構

両開き・ラテラルファイリング・3枚引き戸には、ラッチ機構が付いています。扉及び引出しを閉めるときラッチの掛けを確認してください。(閉めると、カチッと音がします。)外れていると、他からの振動などで開いてくることがあります。



2. セーフティロック機構

ラテラルファイリングには、セーフティロック機構が付いています。1つ引出しを引き出しているときは、他の引出しが開くことはなく転倒防止になっています。

3. ラテラル引出しの開閉

ラテラルファイリングキャビネットの引出しを開閉する際は、全開・全閉でのご使用を推奨します。レールの構造上、全開・全閉せずに引出しの開閉を繰り返すと、引出しが全開しなくなることがあります。その場合、一度引出しを全開の状態までゆっくりと力をかけて引き出してから、閉めてください。レールが正規の状態に戻り、引出しが全開します。

4. 鍵

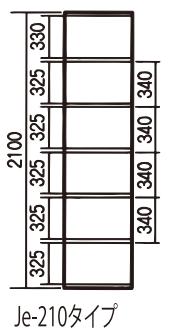
スペアキーは収納庫の外部に保管してください。万一鍵を2つとも紛失された場合は、シリンダーに刻印されている番号をご確認の上、お買い上げいただいた販売店またはお客様サービスセンターにご連絡ください。

△ 注意

扉を開けたまま鍵を回して施錠状態にしないでください。施錠状態にしたまま開いている扉を開めると、扉が施錠され、中の物が取り出せなくなります。スペアキーは必ず収納庫の外部に保管してください。

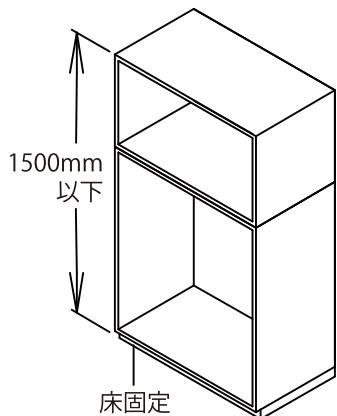
4. 棚間隔

- 棚板の取り付け高さは、20mmピッチで変えることができます。
- 棚板の高さ位置を変更するときは、4個の棚受金具が同一高さになるようセットしてください。
- 本紙の上下に棚受金具の間隔を示す目盛りが記してあります。下図を参照して収納庫本体に本紙の目盛りをあてて棚受金具を取り付けてください。
- 棚板は、15mm厚です。

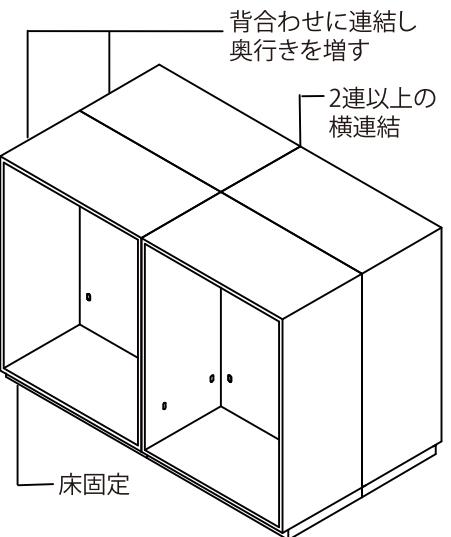


5. 中間置きについて

オフィス内で間仕切りとして(壁面以外)中間置きレイアウトする場合は、安全のため転倒防止を施してください。
(背合わせ・床固定・その他地震対策)



単体での中間置き
単体で中間置きされる場合は購入先にご相談の上、床固定金具(別売)を取り付けてください。
また、床からの高さが1500mm以上になる場合は単体での使用はお控えください。



6. ご使用上の注意

- 1.直射日光・暖房器具などの近くを避けてください。変色・変形することがあります。
- 2.埃や湿気の多いところは避けてください。故障や変形することがあります。
- 3.熱い鍋やヤカンなどを直接天板上に置かないでください。天板面が変色・変形することがあります。
- 4.天板上に水などをこぼした場合は速やかに拭きとってください。天板面が膨れたり、破損することがあります。
- 5.屋外や水のかかる所では使用しないでください。サビや故障を引き起こす原因となります。
- 6.乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。

7. お手入れ方法

- 1.汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
 - 2.汚れのひどい場合には、オフィスクリーナーまたは薄めた中性洗剤溶液で拭いてから、固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
- ご注意：シンナー・アルコール類の使用は避けてください。変色・変形や塗装が剥れる場合があります。

8. 製品の保証について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のお客様サービスセンターへご連絡ください。

1. 保証項目・期間

保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

対象部位	不具合内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部分の変・退色、レーザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構・扉の開閉・昇降機構の故障	2年
構造体	強度・構造体による破損	3年

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですが、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所での保証期間ではありません。

●保証期間経過後の修理については有償とさせていただきます。

2. 保証対象外

保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- 火災、天災による故障または破損。
- 改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

9. 製品の仕様に関するお問い合わせ先

製品に関するご質問は、各製品に貼付しております商品表示シールの品番・製造番号をご確認の上、ご購入店・または下記のお客様サービスセンターにお寄せください。

お客様サービスセンター／ **0120-432-298**

受付時間 月曜日～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00
(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く)

10. お見積り(商品・修理・パーツ)のご相談について

お見積りに関するご相談は、商品のご購入店にお問い合わせください。
なお、上記お客様サービスセンターより直接のお見積り提示・販売はしておりません。